

教科別研修講座報告

平成 30 年 7 月 31 日 (火)

C511 中学校技術家庭科 (家庭分野)・高等学校家庭科研修講座

「持続可能な社会をめざす消費生活・環境教育」

講師 大阪体育大学教育学部特任教授 荒井 紀子 氏



〈内容の詳細〉

1 消費生活と環境

○新学習指導要領における消費生活と環境 (講義)

- ・これからの時代に求められる能力と新たな学力を求める国際的な提案について学ぶ。
- ・今改訂では、教科の学習内容と学習の視点の関係、学習の視野 (時間軸・空間軸) に着目する。

○思考力・判断力・表現力を育む授業づくり (講義)

- ・問題解決のプロセスの中で批判的な思考を育むことが大切である。
- ・子どもにとっての学びのストーリー性を大切にし、子どもの思考を深め、学習をつないでいく。

○深い学びとなるための授業づくりのヒント (演習)

- ・住居の間取り図から、二通りの授業展開を体験し、深い学びになるための具体的な工夫を学ぶ。

2 授業づくりのアイデア

○持続可能な社会をめざす消費生活について (講義・演習)

- ・ジグソー法を環境の分野で体験。映像を見て感じたことを班で意見交換し合いその後エキスパート班に分かれ、それぞれの班で持続可能な社会に向けた取り組みの資料を読む。エキスパート班で意見交換をした後に、再び元の班に戻りエキスパート班で意見交換したことを紹介し共有した。

○消費・環境を視点とする授業づくり (グループ演習・発表)

- ・各自が持ち寄った消費生活・環境に関する授業実践を紹介し合った後、今日の研修で学んだことを取り入れた授業を考え、発表。講師の先生からの御助言をいただく。

〈受講者の声〉

・新学習指導要領で何が求められているのかが分かりやすかったです。また、環境問題の問題提起の方法やストーリーを考えた授業づくりなどについて学べ、他の先生方との話し合いや発表の中で新しい視点に気づくことができました。

・家庭科で「深い学び」について実践例などを通して知ることができました。また、消費生活はいつも授業で悩むところですが、授業についてのポイントが分かり自分なりに色々工夫してみようと思いました。



・演習で行ったジグソー法の効果的な取り入れ方が今後の授業で役立てたいと思える内容でした。押さえないことをきちんとテーマとして持って授業をデザインする方法がよく分かりました。明日からの教材研究で使えるものをたくさんいただけたと実感できました。